

キヤノン株式会社

<https://global.canon/ja/environment/biodiversity.html>



《将来に向けた取組方針》

キヤノンは、生物多様性保全が持続可能な社会にとって欠かせないものであると認識し、グループ共通の生物多様性方針を掲げ世界各地で様々な活動に取り組んでいます。

今後もSDGsの目標年次である2030年に向け、事業所を中心とした生物多様性への配慮、自社技術・製品の活用、社会づくりへの貢献を継続して推進します。特に、鳥をテーマとした活動『バードブランチプロジェクト』では、ネットワークカメラなどの新技術を用いた保護研究や、世界の各グループ拠点での保護活動を展開します。また、本活動のウェブサイトは日本語・英語・中国語で発信しており、グローバルな啓発活動にも注力しています。

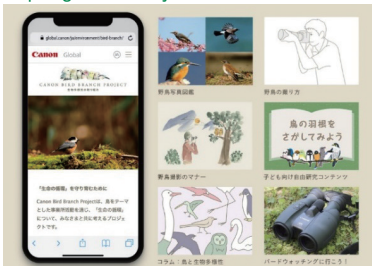
《具体的取組み事例》



キヤノンバードブランチプロジェクト

「鳥」は植物、虫、小動物など、私たちの身近に存在する生態系ピラミッドの上位に位置する「生命の循環」のシンボルです。キヤノンでは、「生物多様性方針」に基づいた活動の象徴として、本プロジェクトを推進しています。

<https://global.canon/ja/environment/bird-branch/>



- 事業所の取り組みや、鳥の生態、鳥を撮るためのノウハウを紹介。鳥を通じて生物多様性の大切さを伝える
- 日・英・中 三か国語で展開

保護活動・啓蒙活動



- 社内外の様々なイベントで生物多様性の大切さを伝える
- 地域の実情に合わせた野鳥の生育環境を守る活動
- 国内外の専門家と連携し取組みを展開

地域社会と連携した生態系保全活動

世界の各グループ拠点において、それぞれの地域に適した、生物多様性保全活動を行っています。



事例：サンゴ礁生態系の修復活動（キヤノンハイテクタイランド）

キヤノンは、高度なイメージング技術の活用とグローバルな啓発活動によって生物多様性保全に貢献します。